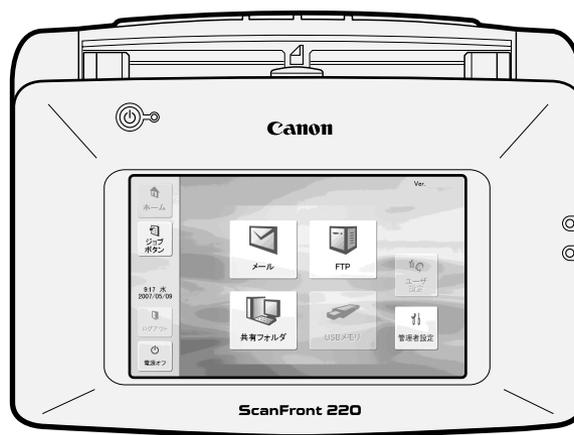


Canon

 imageFORMULA

ScanFront 220/220P

セットアップガイド
最初にお読みください



ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

■ 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

■ JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は高調波電流規格JIS C 61000-3-2適合品に適合しています。

■ ご注意

- ・本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- ・本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容については万全を期して作成しましたが、運用した結果の影響につきましては、前項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 複製についてのご注意

- ・紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、または公共団体や民間団体発行の免許証、許可書、公文書、私文書などの複製は違法となり、処罰の対象となります。
- ・書籍、絵画、版画、地図、図画などの著作物の複製は、自己の使用以外の目的でお使いになることは禁じられていますのでご注意ください。

■ 商標および登録商標について

- ・imageFORMULA は、キヤノン電子株式会社の商標です。
- ・Microsoft、Windows、Internet Explorer、Active Directory、は、米国マイクロソフト社の米国および他の国における登録商標または商標です。
- ・Adobe、Acrobat、および Adobe Readerは、Adobe System Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- ・その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

■ 著作権

libtiff

Copyright (c) 1988-1996 Sam Leffler

Copyright (c) 1991-1996 Silicon Graphics, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that (i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

libjpeg

Portions of this software are based in part on the work of the Independent JPEG Group.

MD5

derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm

Copyright (c) 1998 - 2002, Paul Johnston & Contributors

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the name of the author nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

(Hg) LAMP(S) INSIDE THIS PRODUCT CONTAIN MERCURY AND MUST BE RECYCLED OR DISPOSED OF ACCORDING TO LOCAL, STATE OR FEDERAL LAWS.

はじめに

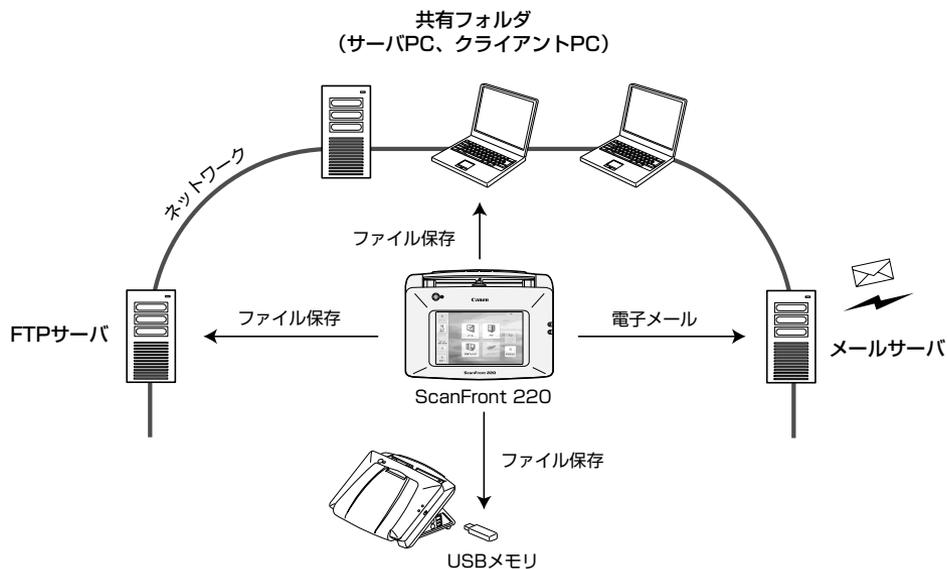
このたびはキヤノンネットワークスキャナ「imageFORMULA ScanFront 220/220P」をお買い求めいただきありがとうございます。

本機の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご活用いただくために本機をご使用になるまえに本書をよくお読みいただくとともに、お読みになったあとは必ず保管してください。

□ ScanFront 220/220P について

ScanFront 220/220P は、コンピュータと接続しないでスキャンすることのできるネットワークスキャナです。

ScanFront 220/220P でスキャンした画像は、ネットワーク上のサーバPCやクライアントPCの共有フォルダまたは、FTPサーバへを転送したり、電子メールによる遠隔地への配信が可能です。また、ネットワーク環境のない場所での画像データの利用についてはUSBメモリに画像ファイルを保存して使用することができます。



ScanFront 概念図

□ マニュアルの構成について

本製品のマニュアルは以下の構成になっています。本製品をお使いになる前によくお読みください。



セットアップガイド（本書）

ScanFrontを使えるようにするまでのセットアップの手順について書かれています。ScanFrontの詳細については以下のオペレーションガイド（別冊）および取扱説明書（電子マニュアル）を参照してください。



オペレーションガイド（別冊）

ScanFrontの概要と、ユーザがScanFrontを使用するための操作手順について書かれています。ScanFrontの設定については以下の取扱説明書（電子マニュアル）を参照してください。



取扱説明書（電子マニュアル）

取扱説明書は、付属の取扱説明書CDに収納されているPDF形式の電子マニュアルで、ScanFrontの概要から取り扱い、メンテナンス、トラブルシューティングなど、ScanFrontを取り扱う項目全般について説明しています。（→P.4）

□ マニュアル内の表記について

本製品のマニュアルで使用している記号・表示について説明します。マニュアルをお読みになる前に、ひととおり目を通して、その意味を理解しておいてください。

（→P. xx）

参照ページを表します。カッコ内の数字は、書かれていることについての詳しい説明が記載されているページ数です。



注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。



重要

操作上必ず守っていただきたい重要事項や禁止事項が書かれています。機械の故障や損傷を防ぐために、必ずお読みください。



ヒント

操作の参考となることや補足説明が書かれています。必ずお読みください。

ScanFrontのセットアップについて

ScanFront 220/220Pのセットアップは、以下の手順で行います。

1. 付属品の確認 (→P.4)

ScanFrontの付属品を確認します。

2. 保護部材の取り除きとフィードローラーの取り付け (→P.5)

ScanFrontを保護している保護部材を取り除き、付属のフィードローラーを本体に組み込みます。

3. 設置とネットワークへの接続 (→P.7)

ScanFrontを設置場所に移動してACアダプタとネットワークケーブルを接続します。

4. 電源のオン/オフ (→P.9)

ScanFrontの電源は、「電源スイッチ」でオンにし、操作パネルに表示されている「電源オフ」ボタンで電源をオフにします。

5. セットアップ (→P.10)

ScanFrontのセットアップは、ScanFront本体で設定する「管理者設定」と、コンピュータのWWWブラウザによる「Webメニュー」で行います。本書では、ScanFront本体で設定するネットワークと、Webメニューによる日時の設定とタイムゾーンの確認、電子メールを送信するためのメールサーバの設定について説明します。その他の設定項目および詳細については、別冊のオペレーションガイド、および取扱説明書（電子マニュアル）を参照してください。

* Webブラウザは、インターネットエクスプローラー6.0以上を使用してください。

・ ネットワーク設定

ネットワークに接続するための「デバイス名」と「IPアドレス」の設定をScanFront本体の「管理者設定」で行います。(→P.11)

・ 日時の設定とタイムゾーンの確認

Webメニューにログインして日時の設定とタイムゾーンの確認を行います。(→P.13)

・ メールサーバの設定

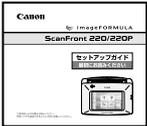
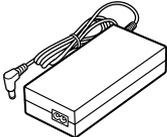
電子メールを送信するためのメールサーバを登録します。(→P.14)

6. スキャン手順について (→P.15)

ScanFrontの操作手順としてホーム画面からのスキャンの手順の概要を例として説明しています。手順の詳細については別冊の「オペレーションガイド」および「取扱説明書（電子マニュアル）」を参照してください。

1. 付属品の確認

ScanFront を取り出したら以下の付属品が同梱されていることを確認します。万一、不足品や損傷品があった場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

	ScanFront 220 (標準モデル)		セットアップガイド (本書)
	ScanFront 220P (指紋センサー搭載モデル)		オペレーションガイド
	フィードローラー *フィードローラーは、設置時に本体に組み込んで使用します (→P.5)		取扱説明書CD-ROM
	ACアダプタ (コード長：1.5m)		保証書
	電源コード (コード長：1m)		

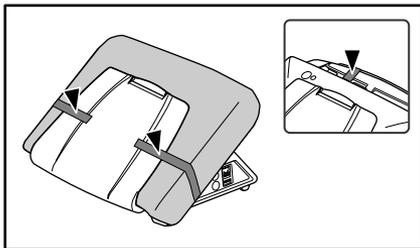
* 取扱説明書 CD-ROM には「セットアップガイド」、「オペレーションガイド」、「取扱説明書」が PDF 形式の電子マニュアルで収録されています。電子マニュアルを閲覧するためには、アドビシステム社の Adobe Acrobat または、Adobe Reader が必要です。

* AC アダプタと電源コードは必ず付属品をお使いください。

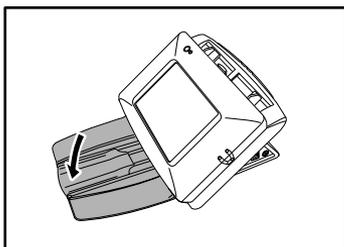
2. 保護部材の取り外しとフィードローラーの取り付け

ScanFront を保護している保護部材を全て取り除き、フィードローラーを本体に組み込みます。

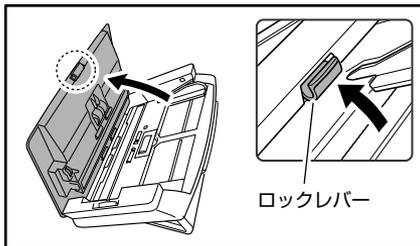
1. 外装を止めているオレンジ色のテープ（3ヶ所）と保護シートを取り除きます。



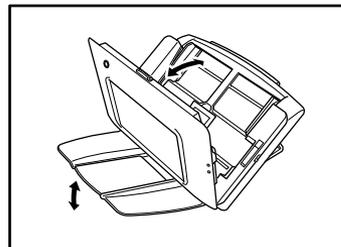
2. 排紙トレイを静かに開きます。



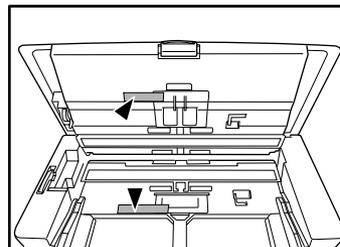
3. ロックレバーを手前に引いて、パネルユニットを止まる
ところまで開きます。



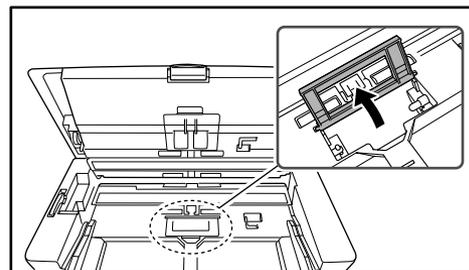
- 注意** パネルユニットの開閉に連動して排紙トレイが上下します。パネルユニットを開くときは、排紙トレイを押さえないでください。



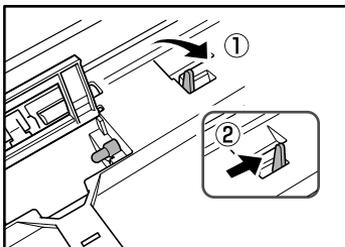
4. ローラーカバー（2ヶ所）を固定しているオレンジ色の保護テープを取り除きます。



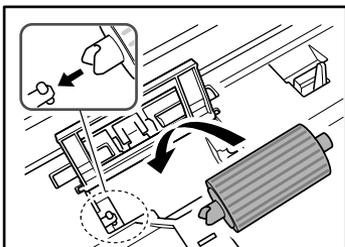
5. フィードローラー用のローラーカバーを開きます。



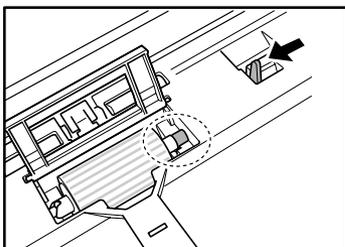
6. 固定レバーを起こし (①)、矢印方向にスライドさせます (②)。



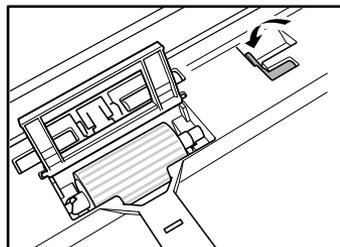
7. ローラーの軸の切り欠き部を本体の軸に合わせて、フィードローラーをセットします。



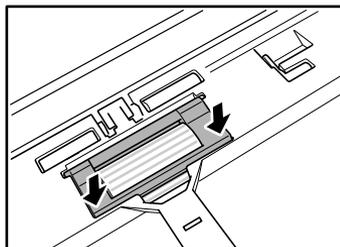
8. 固定レバーを矢印方向に動かし、フィードローラーの軸の穴に、はめ込みます。



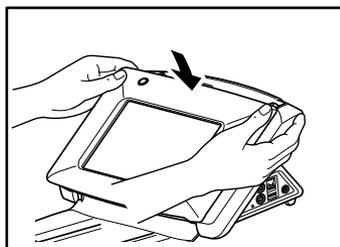
9. 固定レバーを倒してフィードローラーを固定します。



10. ローラーカバーを閉めます。カチッと音がしてカバーが元の位置に戻ったことを確認します。



11. パネルユニットをゆっくり閉じます。そして、ユニットの両側を押し、カチッと音がしてロックされたことを確認します。



12. 排紙トレイを静かに閉じます。

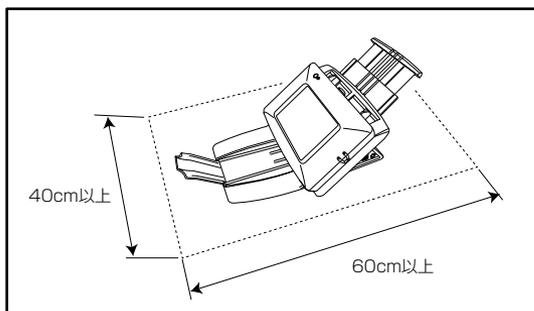
3. 設置とネットワークへの接続

ScanFront を設置場所に移動して、AC アダプタとネットワークケーブルを接続します。

□ 設置場所について

本機の性能は、設置されている環境によって影響を受けることがあります。設置する場所が次の環境条件に合っていることを確認してください。

- 本機の周りには操作、保守、換気のためのスペースを十分確保してください。

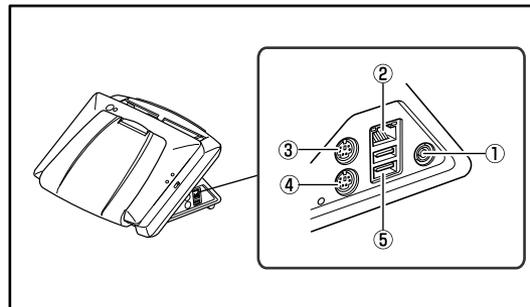


- 直射日光の当たる場所は避けてください。やむをえない場合は、厚いカーテンなどで日光をさえぎってください。
- ほこりの多い場所は避けてください。ほこりは本体内部に悪影響を及ぼすことがあります。
- 水道の蛇口、湯沸器、加湿器など高温、多湿になる場所の近くや、アンモニアガス、シンナーなどが発生する場所は避けてください。
- 不安定な場所や、振動しやすい場所は避けてください。
- 温度が急激に変化する場所は避けてください。本体内部で結露が発生すると品質低下の原因になります。以下の環境下でお使いください。

室温	10℃—32.5℃
湿度	20%—80%RH
- スピーカーやテレビ、ラジオなど磁気を発生する機器の近くは避けてください。

□ インターフェース部

インターフェース部は、ScanFront の右側面にあります。



- ① 電源コネクタ：付属のACアダプタのプラグを接続します。(→ P.8)
- ② LANポート：RJ-45のモジュージャックを使用したネットワークケーブルを接続します。(→ P.8)
- ③ PS/2 コネクタ（緑）：PS/2 マウスを接続します。
- ④ PS/2 コネクタ（紫）：PS/2 キーボードを接続します。
- ⑤ USB ポート：USB メモリまたはUSB マウス、USB キーボードを接続します。

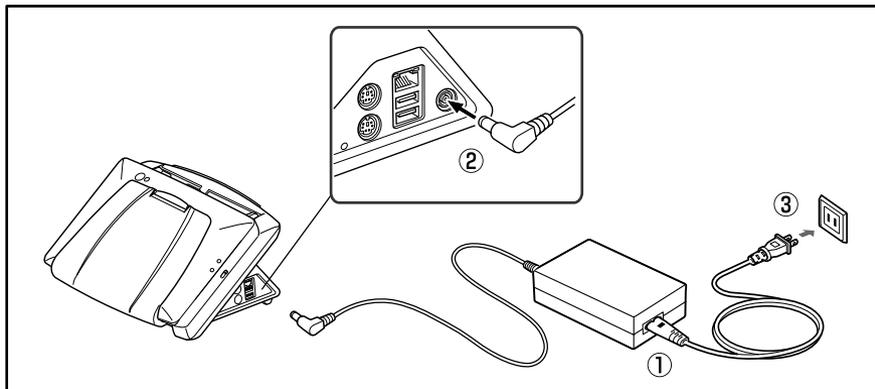
□ ACアダプタの接続

付属のACアダプタを、下図の手順で接続します。



ACアダプタと電源コードは、必ず付属品を使用してください。

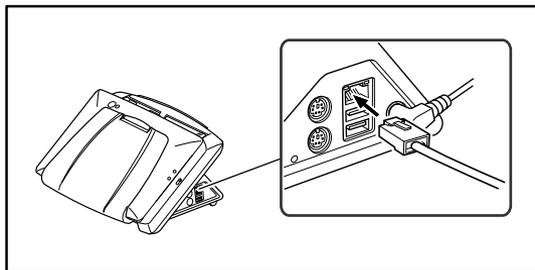
注意



- ① 電源コードとACアダプタを接続します。
- ② ACアダプタの電源プラグを電源コネクタに差し込みます。
- ③ 電源プラグをコンセントに接続します。

□ ネットワークケーブルの接続

ネットワークケーブルのコネクタ (RJ-45) をLANポートに差し込みます

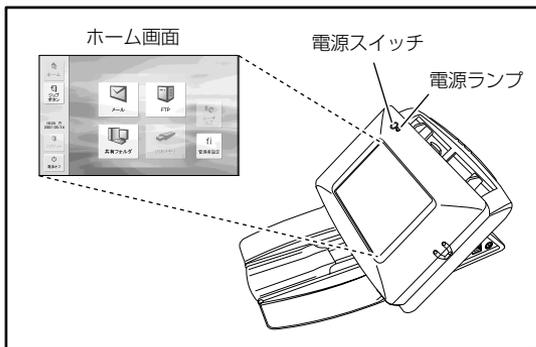


4. 電源のオン/オフ

ScanFrontの電源は、ScanFront本体の「電源スイッチ」でオンにし、操作パネルに表示されている「電源オフ」ボタンで電源をオフにします。

□ 電源のオン

電源スイッチを押して、ScanFrontの電源をオンにします。電源ランプが点灯し、ホーム画面またはログイン画面が表示されます。



ヒント

- 電源スイッチをオンにしてからホーム画面が表示されるまで約40秒かかります。
- ユーザが登録されているときは、ログイン画面が表示されます。(→P.3-4「ログイン画面について」)
- 電源ランプが点灯した状態でパネルが表示されていないときは、ディスプレイオフモードによりパネルの表示がオフになっています。このようなときは、パネルに触れることによりディスプレイオフモードから復帰します。(→ScanFront 220/220P取扱説明書P.4-25「デバイス動作設定-ディスプレイオフ」)
- 電源ランプが点滅した状態でパネルが表示されていないときは、ローパワーモードによりScanFrontの動作が停止しています。ローパワーモードから復帰するときは、電源スイッチを押してローパワーモードから復帰します。(→ScanFront 220/220P取扱説明書P.4-25「デバイス動作設定-ローパワーモード」)

□ 電源のオフ

パネル左下にある「電源オフ」ボタンを押して電源をオフにします。



重要

- ScanFrontの電源を入れ直すときは、電源をオフした後、約5秒間待ってから電源をオンにしてください。
- ScanFrontが動作しなくなったときは、電源スイッチを長押しすることにより、システムがシャットダウンされます。この場合、直前に設定していた内容が破棄されます。

5. セットアップ

ScanFront のセットアップは、ScanFront 本体の「管理者設定」でネットワーク設定を行い、Web メニュー（管理者モード）により各種設定を行います。

本章では、ScanFront 本体の「管理者設定」によるネットワーク設定（→P.11）と、Web メニュー（管理者モード）による時刻とタイムゾーンの確認と設定（→P.13）、電子メールで画像を送信するためのメールサーバの設定（→P.14）の概要について説明します。詳細および、その他の設定項目については、取扱説明書（電子マニュアル）を参照してください。

以下の項目は、ScanFront の設定の一部です。ScanFront をお使いになるネットワークの規模や環境によって設定する項目は異なり、ScanFront を最小限の設定で使用するためには、「ネットワーク設定」の他に、「共有アドレス帳」への宛先の登録が必要です。

○：設定可 -：設定不可

設定項目	設定内容	管理者設定	Webメニュー (管理者モード)
ネットワーク設定	デバイス名とIPアドレスを設定します	○	○
管理者パスワード	「管理者設定」、「Webメニュー」へのログインを制限するパスワードを設定します	○	○
ログインタイプ	ユーザがログインする際のログイン画面を選択します。	○	○
ユーザ登録	ScanFrontを使用するユーザを登録します	-	○
共有アドレス帳登録	全てのユーザが使用するアドレス帳を登録します	-	○
共有ジョブボタン登録	全てのユーザが使用するジョブボタンを登録します	-	○
デバイス設定	ScanFrontの基本動作を設定します（ネットワーク設定含む）	-	○
メールサーバ設定	電子メールを送信するためのSMTPサーバーを設定します	-	○
認証サーバ設定	Active Directoryでユーザーを認証できるドメインサーバを設定します	-	○
アドレス帳サーバ設定	電子メールのアドレス帳を参照できるLDAPサーバを設定します	-	○

□ ネットワーク設定

ScanFrontをネットワークに接続するための「デバイス名」と「IPアドレス」の確認と設定を以下の手順で行います。



- ・ デバイス名はネットワーク上での識別に使用される名称で、初期設定では SF+MAC アドレスの 14 桁の英数字で設定されています。設定を変更するときは、他のデバイスと名称が重複しないように設定してください。
- ・ IPアドレスの初期設定は、DHCPによる自動取得に設定されています。DHCPサーバを使用しない場合は、[DHCPサーバ有効] のチェックをはずして固定アドレスを入力します。詳細についてはネットワークの管理部門にお問い合わせください。
- ・ WebメニューへログインするためのURLには [デバイス名] または、[IPアドレス] を使用します。[デバイス名] と [IPアドレス] は必ず控えるようにしてください。

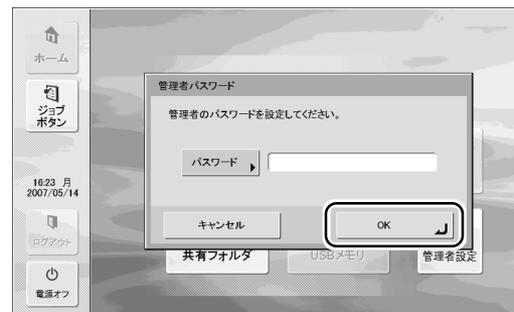
1. 「管理者設定」を押します。



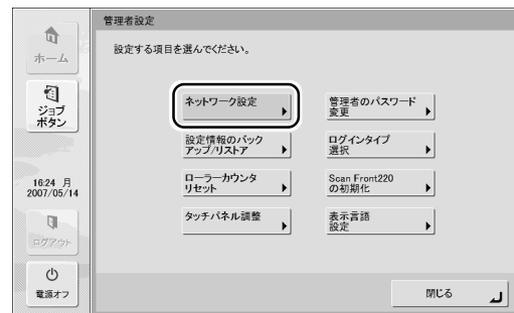
「管理者パスワード」の入力ボックスが表示されます。

2. 「OK」を押して「管理者設定」画面を表示します。

初期状態では、管理者パスワードは設定されていません。



3. 「ネットワーク設定」を押します。



4. デバイス名とIPアドレスの設定の確認と変更を行います。





5. 「デバイス名」(または「IPアドレス」) を押します。
キーボード入力画面になります。



[シフト] を押すと大文字の入力画面になります。



6. 新しい「デバイス名」(または「IPアドレス」) を入力し、「OK」を押します。

- 重要
- デバイス名は、ネットワーク上で使用される名称です。他のデバイスの名称と重複しないように設定を変更してください。
 - デバイス名は、英字(A-Z, a-z)、数字(0-9)とハイフン (-) の組み合わせで15文字以内にしてください。
 - デバイス名の先頭には英字(A-Z, a-z)を使用し、末尾にハイフン (-) は使用できません。

7. 変更したデバイス名とIPアドレスを確認し、「OK」を押します。



8. 「閉じる」を押して、ホーム画面に戻ります。

9. 「電源オフ」を押して、ScanFront を再起動します。

□ 日時の設定とタイムゾーンの確認

ネットワークの設定が完了したら、Webメニューにログインして日時の設定とタイムゾーンの確認を行います。その他の設定項目および詳細については、別冊のオペレーションガイド、および取扱説明書（電子マニュアル）を参照してください。

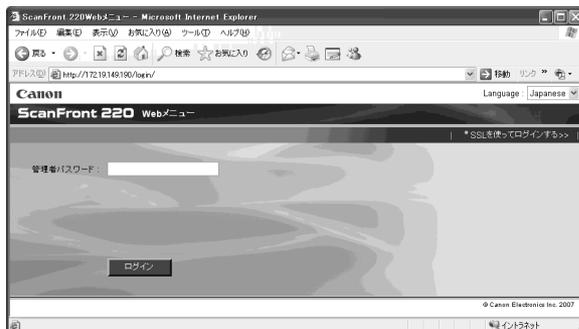


重要

タイムゾーンは使用している地域（日本国の場合、[東京時間]）に設定されていることを確認します。タイムゾーンが他の地域に設定されている場合、送信時間および、送信した画像ファイルのタイムスタンプがScanFrontに表示されている日時の設定と合わなくなります。

1. ScanFrontの電源をオンにします。
2. ScanFront本体の「管理者設定」でIPアドレスを確認します。（→P.12「ネットワーク設定」）
3. コンピュータでWebブラウザを起動します。
4. URLに[デバイス名]または、[IPアドレス]を入力してWebメニューを開きます。

例) デバイス名が「ScanFront220」の場合、
<http://scanfront220>
IPアドレスの場合、<http://172.19.xxx.xxx>



ヒント

Webメニューの表示が日本語になっていないときは、Languageで[Japanese]を選択し、Webメニューの表示を日本語にします。

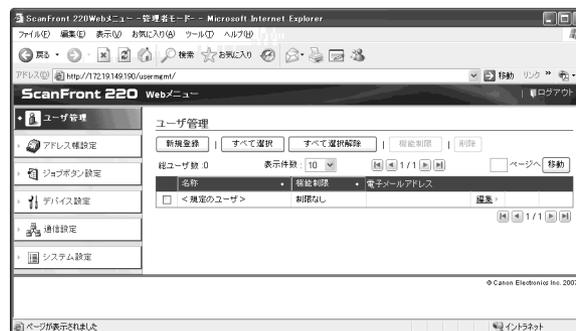


5. [ログイン] をクリックしてWebメニュー（管理者モード）にログインします。



ヒント

初期設定では管理者パスワードは設定されていません。管理者設定でパスワードを設定した場合、パスワードを入力してログインします。（→P.11）



6. [デバイス設定] をクリックします。



デバイス設定画面になります。

7. [言語 / タイムゾーン] の設定を確認します。



設定を変更するときは、「言語 / タイムゾーン」または「設定へ」をクリックして設定を変更します。



言語 / タイムゾーン設定画面

デバイス設定 > 言語 / タイムゾーン

言語 / タイムゾーン	
デバイスの表示言語:	日本語
タイムゾーン:	(GMT+09:00) 東京時間
日付:	<input type="checkbox"/> 日付変更する 2009年03月10日
時刻:	<input type="checkbox"/> 時刻変更する 04時45分

OK

キャンセル



重要 タイムゾーンが正しく設定されていないと、メールの送信時間や、保存された画像ファイルのタイムスタンプが正しく保存されません。



重要 サマータイムを有効にするをチェックした時に、正しい時刻が反映されない場合があります。この場合は、正しい時刻に再設定して下さい。

□ メールサーバの設定

スキャンした画像を電子メールで送信する場合は、Webメニューの「通信設定」を開き、メールサーバーを登録します。詳細については取扱説明書（電子マニュアル）P.4-26「通信設定」を参照してください。



6. スキャン手順について

ホーム画面から送信する手順の概略について説明します。

その他、詳細については別冊のオペレーションガイドおよび取扱説明書（電子マニュアル）を参照してください。

1. 原稿をセットします。
2. 送信先を選択してボタンを押します。



「アドレス選択」画面が表示されます。

 送信先は「アドレス選択」画面から変更することができます。
ヒント

3. 表示されている宛先を押して選択します。



 「宛先タイプ」で送信先が変更できます。
ヒント

 : メール  : 共有フォルダ
 : FTP  : グループ

- ・宛先を押すとアイコンにチェックマーク(✓)が付いて選択されます。選択されている宛先を再度押すと選択が解除されます。
- ・メールとグループのアイコンは、押すごとに送信条件 (To, CC, Bcc) が変わります。

 : To  : CC.  : Bcc.  : 選択解除

 重要
宛先の背景に色が付いて選択されていても、チェックマークがなければ宛先として選択されていません。

4. アドレス帳に宛先が登録されていないときは【編集】を押して、宛先を新規登録します。



 登録する宛先が自分専用の場合は、「マイアドレス帳」に宛先を登録します。詳細についてはオペレーションガイドP.3-18「宛先の登録と編集」を参照してください。

5. 選択したアドレスにチェックマークがついていることを確認し、[次へ] を押します。



「読取 / 送信設定」画面が表示されます。

6. スキャン設定を確認し、[スタート] を押します。



スキャンを開始し、原稿がなくなるとスキャンを終了します。



- ・ [完了] を押すと、送信画面に移ります。
- ・ [継続] を押すと、スキャンを再開します。
- ・ [中止] を押すと、スキャンした画像を破棄して「読取 / 送信設定」画面に戻ります。

7. [完了] を押します。

8. スキャンした画像を確認します。



- ▶ : 次ページの画像を表示します。
- ◀ : 前ページの画像を表示します。
- ◀ ▶ ◻ ▶ : 拡大表示させた表示画像を移動します。
- 🔄 : 画像を反時計方向に 90 度回転します。
- 🔄 : 画像を時計方向に 90 度回転します。

 : 画像を拡大します。

 : 画像を縮小します。

9. [送信開始] を押します。



[宛先確認] 画面が表示されます。

10. 宛先を確認し、[OK] を押してスキャンした画像を送信します。



画像ファイルを送信してホーム画面に戻ります。



ヒント

画像を送信後に表示される画面は、設定によって選択できます。
詳細については、別冊のオペレーションガイドおよび取扱説明書（電子マニュアル）を参照してください。

Canon

キャノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6 CANON **S**TOWER